

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
1	マクキム 洋子	質問事項 「こどもを守る110番の家」の現状について
		質問要旨 カンガルーの親子が描かれた「こどもを守る110番の家」の看板は、全国の警察や自治体で進められてきた子供を守るボランティア活動の一種である。しかし、近年、通学中のトラブルや子供が被害に遭う事件、不審者情報等が頻繁に配信されている状況にも関わらず、看板の設置が全国的に激減している。そこで、本市の看板設置の状況、子供への周知方法や地域への働きかけについて伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 大規模地震に備える木造住宅・ブロック塀等の耐震化支援について
2	飯村 裕一	質問要旨 昨年発生した能登半島地震の木造住宅倒壊による被害が報告されている。更に近い将来、南海トラフなど大地震の発生も想定される中、本市においても昭和56年以前に建築された耐震性が不十分な木造住宅・ブロック塀等の建築物が存在しており、耐震化の支援が急務であると考え。無料の耐震診断や耐震改修工事の補助金交付など、耐震化率向上に向けた本市の取組状況を伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 自治会アプリ導入など自治会運営の負担軽減への取組について
		質問要旨 ・現在、本市では行政協力員・行政区代表者に、地域と行政の連絡調整役として活動を行っていただいているが、協力員等の方々の負担も地域によって異なり、ご苦労されている方々も少なくないと感じる。また、新しく転入や転居された方が自治会に入らないこともある。更に、加入していた自治会から抜けるという方も見受けられる。本市での自治会運営の負担軽減への取組や自治会運営の考え方を伺う。また、負担軽減策として自治会アプリの導入の推進なども検討してはどうかと考えるがいかがか。
3	古川 よし枝	答弁者 担当部長
		質問事項 簡戸地区での公園計画について
		質問要旨 ・現在、みらい平地区と同様に人口が増加傾向にある簡戸地区は、地区内に公園がない。小絹地区には、絹の台桜公園があるが、簡戸地区の方々が利用するには、距離があり、遠い印象がある。そこで、今後、簡戸地区に公園を整備する計画はあるのか。また、公園を整備するに当たり、現状の簡戸地区での課題について、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
4	本間 真由美	質問事項 物価高騰から市民の暮らし・地元中小企業の営業を支援する対策について
		質問要旨 エネルギー、食料品等、生活必需品の長引く物価高騰は、市民の暮らしを直撃している。早急に、住民の暮らし、農業、小売店も含めた中小事業者等への思い切った支援が求められる。そこで、市独自財源と合わせて政府の物価高騰対策である重点支援地方交付金(令和6年度補正予算)の積極的な活用が求められるが、対象事業を検討する上での市の考えを伺う。また、具体的な事業を検討しているのであれば伺う。
		答弁者 市長・担当部長
		質問事項 小中学校の不登校や特別支援教育について
5	本間 真由美	質問要旨 ・市内小中学校の不登校、特別支援教育の現状について伺う。 ・不登校の児童生徒への居場所や学習の機会等の確保に、民間の施設等も含め、どのような支援(対応)を行っているのか伺う。 ・不登校の原因の一つと思われる学習障害などの発達障害児童生徒への支援で、通級や巡回による専門的な指導を行う自治体が増えているが、本市の取組について伺う。 ・低学年のスクリーニング検査で、読み書き等が困難かどうか等、早い段階に気が付けば、早い時期に適切な指導が可能となると思われる。今後、支援を更に充実させるため、学年全体でのスクリーニング検査が必要であると考えますが、市の考えを伺う。
		答弁者 教育長・担当部長
		質問事項 災害時における障がい者への支援について
		質問要旨 ・近年、地震や豪雨などの自然災害が多発している。災害時は、信頼できる情報を収集すること、迅速な行動をとることが重要である。しかし、障がいがある方には、情報が十分に届きにくい状況があると懸念する。そこで、本市における障がい者への情報支援について伺う。また、障がいの種類によっては、支援が必要であるにも関わらず、周囲が気付かないこともある。避難所等で支援が必要と周囲に知らせる方法の一つに、障がい者にバンダナを身に付けてもらい他者に知らせる方法がある。災害時障がい者支援用バンダナの配布について、市の見解を伺う。
6	本間 真由美	答弁者 担当部長
		質問事項 子育て世帯への訪問支援と産後ドゥーラについて
		質問要旨 ・子育て世帯を取り巻く環境は、核家族化や共働きの増加で大きく変化をしている。特に、母親は心身ともに大きな負担を抱えており、訪問による支援が必要であると考え。そこで、本市の子育て世帯への訪問支援の現状を伺う。また、出産を終えた女性は、慣れない育児で悩む方も少なくない。最近では、民間資格でありながら産後の子育て世帯をまるごと支援できる産後ドゥーラが各地で活動していると聞く。産後ドゥーラについて、市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長

順番	氏 名	質 問 事 項・質 問 要 旨・答 弁 者
5	中島 督仁	質問事項 つくばみらい市における不法投棄やポイ捨て問題について
		質問要旨 近年、つくばみらい市内の道路沿いや公園、河川敷、農地周辺において、家庭ゴミや産業廃棄物の不法投棄、空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻などのポイ捨てが問題となっている。これらの行為は、市民の環境意識の低下を招くだけでなく、景観の悪化や環境汚染、さらには地域の治安悪化にもつながる恐れがある。こうした不法投棄及びポイ捨てに対する、本市の対応と対策について伺う。
		答弁者 担当部長
6	小林 芳子	質問事項 せせらぎの小路について
		質問要旨 せせらぎの小路は、つくばみらい市と守谷市との行政界に位置し、2市間で、3年交替で管理業務を行っている。地域住民の自然への願いを実現した水と緑の空間として、長年親しまれてきたが、現在、植栽の維持管理や環境衛生面で、問題を抱えている。現状の課題を解決する方向性や今後の在り方について、市の考えを伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 小絹水処理センターについて
		質問要旨 下水道の終末処理施設である小絹水処理センターについて、近年、みらい平地区の人口増加や福岡工業団地第2期地区の建設により、処理水量の増加が見込まれているが、現在の処理能力で対応出来るのか伺う。また、処理施設の周辺地域では、以前から、臭気発生の相談が相次いでおり、地域住民の生活に支障を来している。その原因と対策について、今後どの様な対応をしていくのか、市の所見を伺う。
		答弁者 担当部長
7	岡本 昌弘	質問事項 プレコンセプションケアの推進について
		質問要旨 ・本市の不妊治療費助成事業の利用実績について伺う。 ・プレコンセプションケアについて、市の見解や取組について伺う。 ・学童期、思春期の児童、生徒に対して、現在学校で行われている保健教育、健康教育にはどのようなものがあるのか、またプレコンセプションケアの理念を踏まえた学校教育の取組について、市の考えを伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 感震ブレーカーの購入・設置費用の助成について
		質問要旨 ・感震ブレーカーは、地震発生時に設定値以上の揺れを感知した場合、ブレーカーを自動的に切断し、通電火災を防ぐものである。感震ブレーカーの設置について、本市の考えを伺う。 ・感震ブレーカーの普及促進のため、購入及び設置費用の助成を行うべきであると考えているが、本市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
8	吉田 稔之	質問事項 国道294号(筒戸から細代区間)における表層の凹凸解消について
		質問要旨 ・市内の幹線道路である国道294号は、1日当たりの交通量も2万台にのぼるとも言われている。谷和原インターチェンジから国道294号バイパスの上り口までの区間や各交差点において、表層の凹凸がひどい箇所が散見され、これが常態化している。沿線住民も、大きな振動と騒音に長年悩まされている。この状態が依然として改善されてないが、県の道路行政に対する市の考えを伺う。 ・国道294号における修繕工事については、数年に1回程度表層打ち換え工事が実施されているものの、一体的な全面工事ではなく、部分的な修繕工事のため、凹凸箇所が残ってしまう。また地盤が弱い箇所については、表層打ち換え工事ではなく、地盤からの抜本的な改修工事が必要であると考えている。工事の計画について、県への対応を伺う。
		答弁者 担当部長
		質問事項 持続可能な水田農業における排水路等の保全管理について
		質問要旨 ・水田農業約2,100haを維持するためには、意欲ある担い手の育成とともに、耕作条件の整備が重要なポイントである。一方で耕作条件の良い田んぼですら、排水路に大きな木が生えるなど、保全管理作業が十分でないことが伺える。今後さらにこうした状況が進むことが懸念されるが、市の考えを伺う。 ・農地や排水路、農道等の保全管理に、農林水産省が推進する多面的機能支払交付金制度を効果的に活用し、対象エリアの保全管理につなげていくことが望ましいと考えるが、この制度を活用している行政区の現況を伺う。 ・一方、この制度に取り組みたいが、高齢化や人材不足の問題、事務作業の煩雑さから、制度に取り組めない行政区もあると聞くが、これらの課題に対する市の支援策について伺う。
		答弁者 担当部長

順番	氏 名	質問事項・質問要旨・答弁者
9	松本 譲二	質問事項 自治会及び行政区の在り方について
		質問要旨 地域社会においては、防災や高齢者・子供の見守り、居場所づくりなど、複雑化する課題への対応の必要性が高まっている中、従来、地縁による団体として役割を担ってきた自治会等が、現在は加入率の低下及び高齢化等による役員の担い手不足、またコロナ禍の影響による地域のつながりの希薄化等により、自治会存続への危機感が高まっている。
		1 ・このような現状を踏まえ、既存自治会存続に向けた本市の見解を伺う。 ・みらい平地区自治会の現状及び今後に向けた本市の見解を伺う。 ・今後、「誰一人取り残さない」をテーマに行政と市民との一体化へ向けた本市の見解を伺う。
		答弁者 担当部長
10	高木 寛房	質問事項 本市が管理している下水道管の現状及び下水道管損傷に伴う事故防止対策について
		質問要旨 各地において、下水道管の損傷が起因とされる道路陥没が発生しているが、本市が管理している下水道管における現状及び対策について伺う。
		2 ・下水道管が破損する原因について ・本市が管理している下水道管の破損が原因とされる陥没の発生件数について ・下水道管の破損が原因となる事故、被害を未然に防ぐための対策について
		答弁者 担当部長
11	伊藤 正実	質問事項 災害時において、避難所等の電力確保のためのLPガス供給システム(LPガス災害バルク)の導入・設置について
		質問要旨 災害時の避難所において、停電時も電力を確保するため、自家発電する機能を整備する必要があると考えるが、現況を伺う。 災害に強く、安定供給の確保が見込まれる災害対応型LPガス供給システム(LPガス災害バルク)の導入・設置について、市の考えを伺う。
		1 答弁者 市長・担当部長
		質問事項 街灯(防犯灯、公園灯、道路灯)について
12	前嶋 竜乃介	質問要旨 街灯(防犯灯、公園灯、道路灯)について、効率的な運用(設置間隔、照度、多目的の併用など)により、更に有効な運用ができるのではないか、という声がある。この状況において、人が多いところに街灯を設置するための要綱改正や県道開通に伴い整備するとされていた陽光台3丁目の無街灯地域の整備、以前の質問において公園の街灯を夜点灯させて防犯効果等を高めることが示されたが、現在は行われていないなど、これまで様々な提案をしてきたが、警察庁の指針、基準を踏まえ、街灯(防犯灯、公園灯、道路灯)の対応・対策について、市の考えを伺う。
		1 答弁者 市長
		質問事項 歩道と車道の間の縁石切り下げ部分について
		質問要旨 本市では、歩道と車道の間の縁石の切り下げ部分は「4メートル」となっている。また、切り下げた部分の付近には「ポラード(車止め)」も設置されている。安全面から考慮すれば致し方ないことは認識しているが、利用しやすくするため、緩和すべきと考える。つくば市では「6メートル」と表記されていることを踏まえ、市の考えを伺う。
13	直井 高宏	2 答弁者 市長
		質問事項 ワーブステーション江戸の活用など本市の観光振興について
		質問要旨 本市にある「ワーブステーション江戸」は全国的にも珍しい歴史的撮影施設でありながら、一般公開されていないため、観光資源としての活用が限定的である。市の観光振興を推進するためにも、他地域の成功事例を参考に、観光体験の充実や地域経済への波及効果を高める施策を検討すべきと考える。 そこで、本市の現状をどのように認識し、どのように観光振興を進めていくのか伺う。
		1 答弁者 担当部長
13	直井 高宏	質問事項 パブリック・コメントについて
		質問要旨 ・パブリック・コメントを実施する際の周知方法は、どのような手段で行っているのか伺う。 ・若年層等が参加できるよう市公式LINE等、SNSを活用した発信を行い、パブリック・コメントを求めることについて、市の考えを伺う。 ・市内の幼稚園・保育園・学校の配布物として、パブリック・コメントのお知らせすることはできないのか伺う。
		1 答弁者 担当部長
		質問事項 安心安全な飲料水の提供について
13	直井 高宏	質問要旨 ・市の水道事業の水質検査実施について伺う。 ・災害用井戸の水質検査について伺う。
		2 答弁者 担当部長

通告議員13人 質問23問